

年々短くなっていると言われる秋ですか、皆さまはサンマ、栗、柿など秋の味覚を楽しめましたか？さて、カスタネット通信11月号は10月15日(水)～17日(金)に千葉県成田市で開催された第70回日本聴覚医学会総会・学術講演会の報告です。

成田



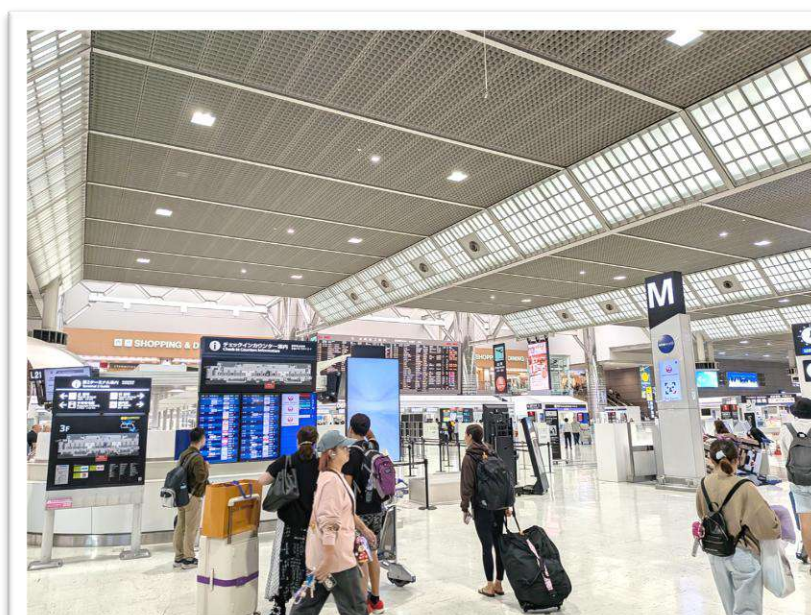
成田といえば、「成田国際空港」と「成田山新勝寺」でしょうか。どちらも行ってきました。

成田空港は学会場に向かうための経由地でした。これから海外旅行に行くような浮き立つ気分と、いや、私はこれから学会だという真面目な気持ちが混ざり合う不思議な感覚を味わいました。成田空港でお昼ご飯に蕎麦を食べたのですが、そのお店には「ハラル認証」が掲げてありました。外国人旅行者の増加に伴うものなのかなと思いました。今まで気づいていなかっただけで、日本では2010年頃からハラル認証が始まっていたようです。

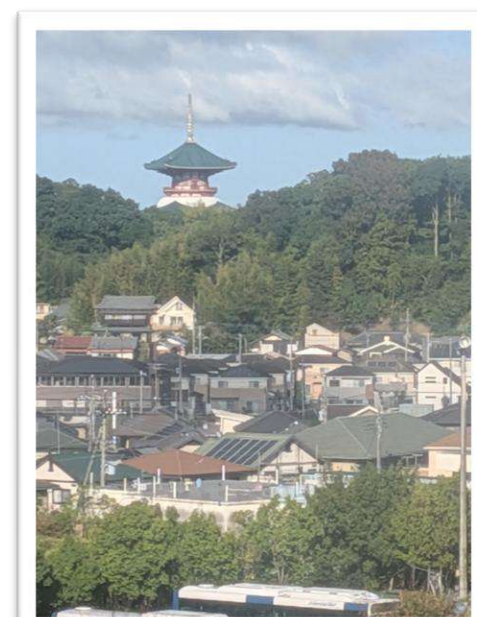


← 蕎麦屋のショーケースに置かれていたハラル認証

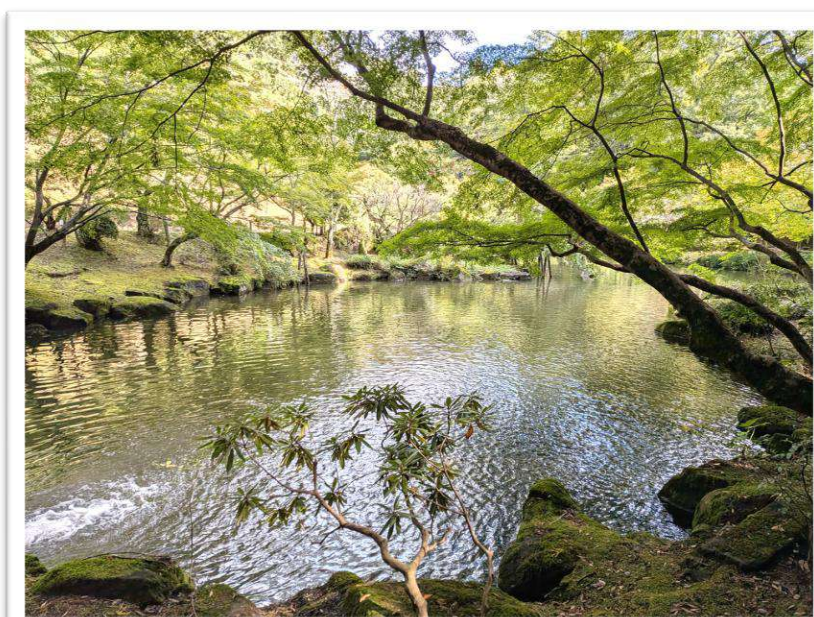
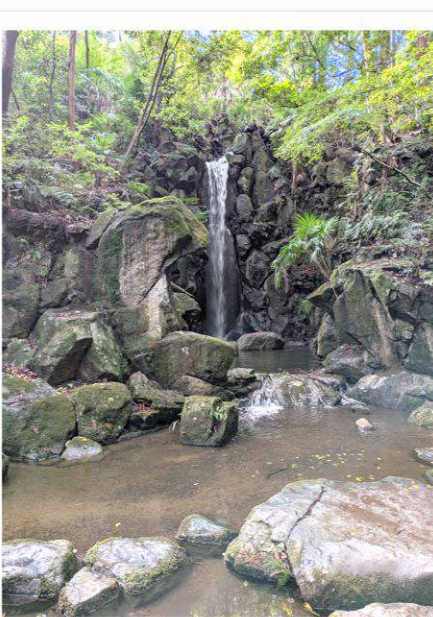
旅行者が行き交う空港。→ オギジビ文庫には空港での高揚感が描かれた絵本があります。



成田山新勝寺は学会場から近かったのも、合間を縫って参拝してきました。ホームページを見ると「真言宗智山派の大本山のひとつで、弘法大師空海が敬刻開眼した不動明王の御尊像を御本尊として開山された不動尊信仰の総府です」と書かれていました。昨年、神戸で開催された言語聴覚学会の前日に訪れた京都の東寺（カスタネット通信2024年7月号参照）も真言宗総本山だったな、弘法大師空海つながりだな、と思いながら参拝しました。成田は鰻が有名ということで、参道には鰻屋さんがありましたが、9時前に行ったため残念ながらまだ開いていませんでした。新勝寺といえば、豆まきの混雑したイメージが強いのですが、平日の朝だったので人は多くなく、ゆっくり見て回ることができました。新勝寺に隣接している「成田山公園」には滝や池があり、自然を楽しみながら散歩ができました。紅葉の時期であればさらにきれいなのだろうと思いました。



↑ホテルの部屋から新勝寺の平和の大塔が見えました(左)。節分会の時は大混雑の大本堂(右)。



↑成田山公園の雄飛の滝(左)と文殊の池(右)。

座長



今回の学会は「研究成果」や「臨床報告」の演題発表はしませんでした。が、「座長」という任務がありました。お芝居や演芸などの一座の長も「座長」ですが、私が務めた「座長」は演題発表の進行役です。日本聴覚医学会では例えば「補聴」「聴覚障害」「人工中耳、人工内耳」といった「群」があり、それぞれの「群」の中に演題が6～7題あります。発表6分、質疑応答4分というように発表者それぞれの持ち時間が決まっており、その滞りない進行を請け負うタイムキーパーが座長です。また、質疑応答の時間に聴衆からの質問がない場合自ら質問をし、発表内容を掘り下げていくのも座長の役目です。そのため「抄録」という発表の要旨が書かれた文章を事前に読み込み、分からないところは調べ、発表内容を十分に理解しておく必要があります。自分が発表するときとはまた違った緊張感がありました。



↑初座長です

私が担当した「聴覚障害児療育」の群では「セルフアドボカシー(self advocacy)」に関する発表が多くありました。「advocacy」は“擁護”、“弁護”という意味の単語で、セルフアドボカシーは障害や困難を抱える人が、自分自身の権利、利益、ニーズ、意思を自ら主張することで周囲に理解を求め、困難な状況を改善していく活動を表します。

難聴がある人のセルフアドボカシーでは、まず補聴器を装用していても聞こえない場所や状況など、自分の聞こえについて知る必要があります。その上で、

- ・ 騒音や反響が多い場所では聞き取りにくいので静かな場所で話したい
- ・ 早口や小声は聞き取りにくいので、ゆっくりはっきり話して欲しい
- ・ 距離が離れると聞き取りにくいので、近くで話して欲しい

というように、対話者がどのように話してくれれば聞き取りが改善するかということを伝えます。

発表は小児に関することでしたが、自分の聞こえを理解し、それを他者に伝えることでことばを聞き取りやすい環境を作っていくためのセルフアドボカシーは、大人にも重要なことです。会議で音声文字変換アプリを使用してもらう、家族や友人との外食の時には静かな個室のあるお店を選択してもらう、大事な話をするときはテレビを消すことで雑音を減らす、といった対応をしてもらえるよう、対話者に依頼することは聞き取りの改善に有効です。



テレビがついていると、言葉が聞き取りにくいから、消してもいいかな？



補聴器をつけていないと、大声でも聞こえないんだ。

急に話しかけられると気づけないから、名前を呼んでからお話してね。

みんなが一度に話すと聞き取れないから、順番に話して欲しいな。